

黑龙江省社会科学院

贺 电

推进 15 年战争与日本医学伦理之会事務局：

值此“推进 15 年战争与日本医学伦理之会”于 9 月 27 日在东京宣布成立之际，我谨代表黑龙江省社会科学院对贵会的成立表示热烈的祝贺！同时对矢志不移从事中日友好，深刻反省战争、尤其是反省战争中医生及医务工作者战争犯罪的大义举动深感钦佩，在此，谨表达我们社会科学工作者的崇高敬意。

多年来，15 年战争与医学研究会的各位学者奔走于中日之间，为中日友好作出了诸多贡献。这一点从贵研究会从事中日友好时间之长、人数之多、成员年岁之大可窥一斑。贵会的正义之举堪称是民间层面中日友好事业的典范。

众所周知，在日本军国主义发动的那场长达 14 年惨无人道的战争中，中国人民为此付出了巨大的人员和物质损失，3000 多万人在战争中丧生，物质损失高达 6000 亿美元。作为与那场惨绝人寰的战争密切相关的省份，黑龙江省也遭受了巨大的人员牺牲和物质损失，仅在哈尔滨近郊平房区，侵华日军 731 细菌部队——食人恶魔们就通过人体试验残忍地杀害了超过 3000 名各界人士！

侵华日军遗留化学武器制造的各种伤害至今还在延续。围绕 731 细菌部队及日军遗留毒气弹的黑龙江省受害者的对日跨国诉讼还在持续，胜诉的案例至今还没有出现。即使这样，心胸宽阔的黑龙江人忍辱负重，不计旧怨，对昔日敌国的妇幼病残人士以德报怨，在这片恩怨情仇的土地上产生了中国养父母收养、养育了多达几千人的残留妇人和残留孤儿的友好佳话。战后、尤其是改革开放以来，北海道、新潟的农业专家帮助黑龙江省进行三江平原土壤和品种改良，谱写了两国两地区农业友好合作的新篇章。

战后，中国政府考虑中日友好的大局以及不给同样遭受日本军国主义伤害的日本人民增添负担，主动放弃了对日战争索赔，中国也因此成为唯一放弃战争赔偿的国家。然而，日本政府至今仍未深刻反省战争责任，在和平认识、历史教育、战争认识等方面并没有像德国那样积极主动地与周边国家和解，中韩两国与日本之间还经常因为某些日本政要的不负责任的言论、参拜靖国神社的举动等而产生外交及民间摩擦，这些不仅影响了三方之间双边和多边的经贸合作，也直接关系到中日友好大局和未来走势。令人欣喜的是，近年中日关系在两国领导人和相互经贸依赖加深的推动下，取得了长足的发展，中日之间因此建立了战略互惠关系，两国在各个领域的发展出现了全方位、多层次、宽领域发展的良好势头。日本鸠山新内阁已经表态将进一步深化中日友好，不干涉中国内政。

我们希望新成立的“推进 15 年战争与日本医学伦理之会”能

够以 15 年战争与日本医学研究会多年从事中日友好、反躬自省的基础为积淀，进一步弘扬中日友好，促进两国民众的相互理解和友好往来。同时也希望贵会能用民间中日友好的动力去推动日本政府在战争认识、反省谢罪、民间赔偿方面做出进一步的努力，使中日关系切实在“前事不忘，后事之师。以史为鉴，面向未来。互利合作，共同发展”的宗旨指引下，不断取得新的突破。

最后，预祝推进 15 年战争与日本医学伦理之会成立仪式取得圆满成功，并逐渐成为主导中日友好的民间大使和医学界反省战争的引擎。祝愿贵会今后不断发展壮大，事业蒸蒸日上。

黑龙江省社会科学院

院长：★曲伟

二〇〇九年九月二十一日

祝 電 (仮訳)

15年戦争と日本医学倫理を推進する会事務局：

「15年戦争と日本医学倫理を推進する会」が9月27日に東京にて設立されるにあたり、黒竜江省社会科学院として貴会の成立に熱烈に祝賀を表します。

長年、15年戦争と医学研究会の学者各位におかれては、中日間を奔走され、中日友好のため多大な貢献をされてきました。貴研究会が中日友好に多くの時間を費やされた、参加される人数が多くなるなど発展されております。貴研究会の正義の行動、民間レベルの中日友好事業の模範と呼ぶに相応しいでしょう。

周知の通りですが、日本軍国主義により、14年もの非人道的な戦争が続けられました。その間、中国人民は3000万あまりの人員を失い6000億米ドルの巨大な物的損失を被りました。黒竜江省多くの犠牲を払いました。ハルピン近郊の平房区では日本軍731細菌部隊が人体実験を行い、3000名の人を殺害しました。製造した化学兵器の被害が今日も広がっています。

731部隊による毒ガス弾の被害者が国培訴訟を継続しており、まだ勝訴に至っていません。黒竜江人は、戦争中の恨みを背負いながら、残留孤児を養ってきました。

戦後、改革開放以来、北海道、新潟と農業専門家の助力を受けて、三江平原の土壌や品種改良を行い、両国の農業友好の冊子を発行しました。

戦後、中国政府は中日友好の大局の立場から、日本軍国主義の犠牲になった日本人に負担を転嫁せず、主体的に、戦争による賠償を放棄しました。中国は、唯一国家として戦争賠償を放棄しました。

しかし、日本政府は未だに戦争責任について真摯な反省には至っておらず、平和認識、歴史教育、戦争認識などの方面で、ドイツのように積極的に反省し、周辺国家と和解するには至っていません。中韓両国と日本との間には、恒に、政府要人の戦争責任を負わない言論や、靖国神社への参拝が続けることが原因で外交及び民間レベルで摩擦を生み出しています。三国間の貿易に多くの悪影響を及ぼしているだけでなく、中日友好の未来の趨勢に直接影響してきます。

近年中日関係において、両国の指導者が経済的な結びつきが進展していることを踏まえ、長期的な発展を志向し、戦略的な互惠の関係、両国の多方面で両国の関係が発展に結びつきが作られたことは喜ばしいことです。

鳩山新内閣が既に中日友好や内政に干渉しないことを将来に向けた踏み込んだ態度表明をしております。

我々は、「15年戦争と日本医学倫理を推進する会」が15年戦争と日本医学研究会の長年の中日友好の催しを基礎にして、さらなる中日友好の場を提供し、両国の国民の友好関係を促進できるようになることを希望します。

同時に、貴会が民間中日友好の動力として日本政府の戦争認識、反省と謝罪、民間賠償など方面の解決に向けて更なる努力すること、「過去を忘れず未来を志向する、歴史に学び、未来を志向する。互惠と共同発展」をキーワードに前進することを希望します。

最後に、15年戦争と日本医学倫理を推進する会の設立総会が満場で成功されること並びに、中日友好の民間大使としてリードし、医学界における戦争責任に対する反省をリードしていただくことをお祝い申し上げます。貴会が今後とも不断に発展し事業が隆盛されますことを祈念します。

黒竜江省社会科学院

院長 曲偉

2009年9月21日